

## 青森県海岸津波対策検討会（第3回）の議事概要について

日 時：平成24年8月10日（金）15：00－18：00

場 所：青森国際ホテル 2階「春秋の間」

出席者：佐々木座長、松富委員、南委員、小笠原委員、渋谷委員、成田委員、  
佐藤アドバイザー

### 1 検討項目

- ① 最大クラス津波（レベル2津波）の検討について〔下北八戸沿岸〕
  - ・ 県独自で想定する断層モデルについて事務局から説明があり、検討した。
- ② 設計津波（レベル1津波）の設定について〔下北八戸沿岸〕
  - ・ 対象地震による津波せり上がり計算結果による、新計画堤防高の決定について事務局から説明があり、検討した。
- ③ 最大クラスの津波の検討について〔陸奥湾・津軽沿岸〕
  - ・ 想定される地震として地震調査研究推進本部で想定している地震および県独自で想定している地震について事務局から説明があり、検討した。

### 2 検討結果

- ① 下北八戸沿岸の最大クラス津波を発生させると想定される断層モデルについては、次のモデルとした。
  - ・ 海溝型地震（県独自で設定する断層モデル）  
三陸沖中部から三陸沖北部までを波源域とする Mw9.0 の断層モデル
- ② レベル1津波検討結果、新計画堤防高については事務局の提案のとおりでよい。

1) 南浜地域海岸	6.0m	4) 東通地域海岸	6.0m
2) 八戸港地域海岸	7.0m※	5) 北通地域海岸	4.0m
3) 上北地域海岸	7.0m	6) 下北西地域海岸	4.0m

  - ※八戸港内については、今後の港湾施設等整備による津波低減効果等を検討する。
- ③ 津軽沿岸の最大クラス津波を発生させると想定される地震について、北海道南西沖～山形県沖を波源域とする2ケースについて数値計算を行うこととした。想定される最大クラスの地震断層の西端に合わせる。地震断層の東端は断層下端の深さに配慮しながら検討することとした。
- ④ 陸奥湾沿岸における最大クラスの津波の検討については、海底地形のチェック及び活断層の有無を調査し検討する。

### 3 その他

第4回検討会の開催を10月2日の予定とする。